INFORMATION & OTHERS

レースの楽しみ方は人それぞれ 自分だけのヒーローを探そう!

ここ数年、大会毎に異なるレースフォーマットが採用されるようになった全日本モトクロス選手権。2024 シーズンを締めくくる今大会では、IA クラスが 25 分 +1 周の 2 ヒート制と、やや短めの時間設定になっています。本来 30 分 +1 周が基本ではあるんですが、釣瓶落としな秋の日没時間を考慮しての決定。僅か 5 分の違いではありますが、全力勝負への影響は少なくありません。その中でどのライダーがチャンスをかし、どんなドラマが生まれるかぜひ注目してください。

モータースポーツの中で最も体力が必要とされるモトクロス。トップライダーが繰り広げる華麗なライディング技術の陰に、積み重ねてきた日々の努力があることもぜひ知ってほしい。

そんなライダーたちを識別するためのゼッケンですが、白地が IA1、黒字が IA2、青が IB... なんですが、IA1 にも IA2 にも赤いゼッケンが混じっていますよね。これは前年度トップ 10 のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラー。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

そしてよく見ると、黒ゼッケン IA2 には 01〜011 を付けるライダーがいますよね。彼らは今年 IA クラスに昇格したばかりのルーキーたち。ちなみに #43 吉田琉雲選手は 3 階級特進を経て IA 昇格を果たしたスーパールーキーです。

その中から今回レース方式の予選を通過して決勝に駒を進めることが出来るのは僅か 30 名。ちなみに参加台数が多いIB OPEN クラスでは、予選レースの上位と敗者復活のラストチャンス上位のライダーが決勝レースに駒を進めることになります。

決勝レースでは 15 位以内に入らないとランキングポイントを手にすることが出来ません。ページをめくってここまでのランキングを見てもらえれば、それがどれほど大変なことかお分かりいただけると思います。

トップ争いももちろん見応えがありますが、1 ポイントをかけた渾身のバトルにもぜひ注目してみてください。

IB OPEN クラスでは今大会の結果で来季の IA 昇格者が決定します。そして IA2 クラスでは果たして何名のルーキーが決勝に進出できるか。A 級の速さや迫力に押されてみんなドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張しているハズ。そんな時は観客の応援が何より力になります。第 1 ヒート開始前の選手紹介、そしてサイティングラップでコースを 1 周。ライダーが近くに来たら、落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。

声援がレースを盛り上げる 声を出して応援しよう

IA1 クラス以外の年間ランキングの争いは、正に今大会が佳境。シリーズチャンピオン決定の瞬間をぜひその目で見届けて下さい。全国から集結したライダーたちのスピードとジャンプの迫力。随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルをコースサイドから見守るとライダーの気迫を感じることが出来るハズです。

様々なモータースポーツ競技の中で横一線のスタートはモトクロスだけだと言われています。1 コーナーを真っ先に立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに 1 周目の混戦バトルは熾烈です。注目するライダーはアクシデントに遭わずにオープニングラップをクリア出来るでしょうか。

全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人のライダーに的を絞って観戦するとレースの展開が良く分かると思います。スタートして一桁ゼッケンのライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスは 1 ページ目の 1 番下に QR コードが置いてあります。携帯やスマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

せっかくの機会、チームパドックやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。ビッグチームだとポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、IA ライダーの多くがミニゼッケンステッカーを持っているので、特に子供さんは何人分ゲット出来るかパドックにライダーを尋ねて回ったら楽しそう。

スタンド席に陣取って見るのもいいし、コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探すも良し。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。興味のある方はヘルメットやウエアの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

シーズンオフも LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」は今年も LINE 公式アカウントを使って配信しています。料金は基本タダ（笑）。今大会終了後にはシーズンの総括レポートや MXoN を含めた世界と日本のモトクロスの現状なんかもお届けしちゃいます。みなさんぜひお気軽にご登録ください。

編集後記

行くか行くまいか、直前まで迷っていたです。国別対抗戦モトクロス・オブ・ネイションズ。円安に加えて今年の会場は物価がバカ高いイギリス。でも行って良かった。もう 30 大会近く取材してきたと思うんですが、レースの内容は間違いなく今年が最高でした。今シーズンも取材活動を継続出来たことを全てのファンと関係者に感謝します。ありがとうございました。

MXING & MC Square 木田 淑

idemitsu

この度、タイ北東部ムクダーハン出身の13歳、ヌエメク・アランチャイ・プラヨングラット選手が、D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ 2024 第6-7-8戦JXクラスに参戦するに当たり、FMSCT会長のトンチャイ・ウォンサワン氏、シンソンファン・ムクダーハンのCEOチャイワット・プラヨングラット氏、タイで55年以上の歴史を持つ出光潤滑油のタイ代理店アポロ・タイ社長の公荘雄一氏と執行役員のタナサック・ワハウィサル博士、そしてタイMX関係者の誰もが彼の参加を支援出来たことを誇りに思います。ヌエメク選手は全日本選手権K65クラスに参戦したタイ人初のライダーとして2022年第6戦関東大会で2位入賞を果たしました。
今回の参戦もMFJとFMSCT、そしてRacing Team TAKAの支援により実現したものです。長年に渡る素晴らしい協力関係に心より感謝申し上げます。

RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

D.I.D DIRT STAR

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2024 第8戦(最終戦) MFJ-GPは10月19〜20日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGO インターナショナルモトクロスコースで開催される。国内最高峰IA1クラスは既にジェイ・ウィルソンの連覇が確定。しかし、それ以外のクラスはこの大会で新たなチャンピオンが誕生することになる。栄冠を手にするのは果たしてどのライダーか、シーズンファイナルの感動とドラマをぜひその目に焼き付けて欲しい。

白熱のバトルで盛り上がろう!
1. トップライダー&地元選手をチェック!
2. お気に入りのライダーを一人見つける!!
3. モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4. 頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

連覇V3を達成したジェイが シーズンをどう締めくくるか注目

国内最高峰 IA1 クラスは、前回関東大会の第 2 ヒート終了時点でディフェンディングチャンピオン**ジェイ・ウィルソン**（#1 ／ヤマハ）が 2022 年 IA2 クラスから 3 シーズン続けての連覇を達成。圧倒的な強さを誇るジェイが今シーズン最後のレースをどう締めくくるかにまずは注目が集まる。

そのジェイに真っ向勝負を挑むのがランキング 2 番手の**横山遥希**（#41 ／ホンダ）だ。ポイントランキングの争いでは、3 番手に付ける**ビクトル・アロンソ**（#33 ／GASGAS）とこれを捉えたい**大倉由揮**（#2 ／ホンダ）のバトルにも注目。ランキング 4 番手に付けていた**大城魁之輔**（#4 ／ヤマハ）の怪我による離脱は残念だが、**能塚智寛**（#7 ／カワサキ）や**大塚豪太**（#6 ／ホンダ）、**安原 志**（#8 ／カワサキ）と**内田篤基**（#4 ／カワサキ）らも最後に一矢報いようと狙っているはずだ。そして今回ここに世界選手権を戦ってきた**フェルッチョ・ザンキ**（#73 ／ホンダ）がスポット参戦。これを迎え撃つジェイを筆頭とした全日本トップライダーたちとのバトルも見どころとなる。イタリアの若手がどんなスピードを見せるか、シーズン有終のバトルをぜひ楽しんで欲しい。

激しい火花をちらす接近戦 横澤と中島に迫るのは誰だ !?

昨年のチャンピオン**ビクトル**が IA1 クラスにスイッチしたことで日本人同士の戦いとなった IA2 クラスは、開幕戦関東、続く九州大会と 2 戦連続で総合優勝を飾った**中島漱也**（#3 ／ヤマハ）がまず先行。ところが第 3、第 4 戦では**横澤拓夢**（#2 ／ホンダ）が雨のレースで連勝し、ランキングで中島を逆転しトップに浮上した。しかし前回関東では地元で奮起した中島が 3 ヒートをパーフェクトで勝利し、ランキング争いも再逆転。残る 2 ヒート両者の差は 13 ポイントで初タイトルに中島が有利な展開だが、横澤にとってここ SUGO は地元で得意としてきたコースだけに最後まで目が離せない展開が期待できそう。

もちろん**田中淳也**（#10 ／ヤマハ）、**柳瀬大河**（#6 ／ホンダ）、**鴨田翔**（#4 ／カワサキ）、**西條悠人**（#9 ／カワサキ）、ルーキー**住友睦巳**（#01 ／ヤマハ）ら若手と**佐々木麗**（#15 ／カワサキ）、**浅井亮太**（#7 ／ヤマハ）、**福村 鎌**（#11 ／スズキ）ら中堅ライダーたちも勝利のチャンスを狙っている。混戦が予想される中、中島と横澤がどんな戦いを繰り広げるか、このタイトル争いにライバルたちがどんな影響をもたらすか、熱戦に期待が集まる。

川井と本田の譲らぬ戦い 新たなヒロインの登場は!?

昨シーズン**本田七海**（#2 ／ヤマハ）らとの激しいタイトル争い制して自身 3 度目のチャンピオンに輝いた**川井麻央**（#1 ／ホンダ）。開幕戦ではその川井が予想通りの強さで圧勝するも、レース後川井のマシンに規定違反が発覚し、審査の結果川井は失格となってしまう。

いきなり大きなハンデを背負った川井だったが、九州の 2 連戦、続く SUGO では女王の名に相応しい圧巻の走りで 3 連勝をマークし、ポイントランキングでも一気にトップに浮上して見せた。

ところが長いインターバルを経て迎えた第 6 戦近畿大会では地元で気を吐いた本田に対し、川井は 4 位と苦戦を強いられ再びランキングが逆転。続く前回関東大会、今度は川井が地元で勝利、本田は 3 位となり、この結果両者同ポイントで最終戦を迎えた。この激しい攻防がどう決着するのか。開幕戦で優勝し、現在 6 ポイント差でランキング 3 番手に付ける**川上真花**（#4 ／ヤマハ）にも十分逆転のチャンスがある。ここに**楠本菜月**（#10 ／ホンダ）、**瀬尾 柚姫**（#5 ／ホンダ）らがどう絡んで来るのか。一瞬たりとも目が離せないタイトル決定のドラマに注目して欲しい。

IA 昇格が決まる IB OPEN クラスやジュニアクロス、チャイルドクロスにも注目。土曜日に行われるジュニアクロスには、タイから P. **アランチャイ**（#30 ／ヤマハ）が参戦する。公式プログラムでゼッケンと名前を確認しながら、地元ライダーには特にコースサイドから熱い声援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2024スケジュール

第1戦	関東大会	3月 30〜31日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第2戦	HSR九州大会	4月 20日	熊本県／HSR九州
第3戦	HSR九州大会	4月 21日	熊本県／HSR九州
第4戦	SUGO大会	6月 1〜2日	宮城県／スポーツランドSUGO
第5戦	北海道大会	6月 23日	北海道／新千歳モーターランド
第6戦	近畿大会	9月 14〜15日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	関東大会	9月 28〜29日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第8戦	MFJ-GP	10月 19〜20日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D® 全日本モトクロス選手権 第8戦 MFJ-GP 開催おめでとうございます。
SUZUKI
YAMAHA Revs Your Heart

左のQRコードは、ライブタイミングリザルトとライブ動画配信へのリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。